



大好き かたびら

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/katabira>

令和3年4月7日
横浜市立帷子小学校
学校だよりNo.1 4月号
横浜市保土ヶ谷区
川辺町65-1
TEL045-335-5896

人、まちとともに

校長 齋藤 容二

正門近くのサクラは葉桜となりましたが、運動場のヤエザクラが満開となりました。新たに 56 名の新入生、3 名の転入生、12 名の着任教職員を迎え令和 3 年度が始まりました。今年度も保護者・地域の皆様には、本校教育活動へのご理解・ご協力をいただけますよう、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

昨年来の新型コロナウイルス感染拡大により、様々なことにおいて見直しや新たな取組が行われてきました。学校の中でも、人との距離を保つことや直接触れ合わないこと、話しながらの食事を控えるといったことはまるで当然のことのようになってきました。また、直接会わずに会話や学習するための手立て（オンライン活用）といったことが、学校の中でも今後は必要であり、かつ効果的などころもあると言われ、準備が進められています。

つい先日、ある保護者の方と少し話す機会がありました。その方の話では、中学に通う上のお子さんが、オンラインで友達と話しているのが取って代わって話そうとはしないとのことでした。その保護者の方自身は、直接会って話す方がよいという思いであるとのことで、ご自分のお子さんの様子を心配されていました。

現状では、直接会うことを控えた方がよい場面も出てきているのは確かでしょう。しかし、オンラインで会話することは、直接会って話すことに 100%代わることができるのか、ということが気になってきます。

コミュニケーション（＝意思の疎通）・対話においては、言語での伝達は全体の 10%程度であり、あとの 90%ほどは「非言語の部分」によって伝わる、とされています。その言語以外とは

- | | | | | |
|-------|----------|-----|----------|---------|
| ・声の抑揚 | ・視線の動き | ・表情 | ・身振り、手振り | ・物を動かす音 |
| ・姿勢 | ・体の距離、接触 | ・匂い | ・服装、身なり | ・持ち物 |

等です。さて、オンラインでの対面、または画面の文字だけのやりとりではどこまで人の思いは伝わり、受け取られ、意思の疎通ができていくのでしょうか。

本校の学校教育目標は「**大好き かたびら 輝く 笑顔**」です。そして、具体的な目標として

- | |
|----------------------------------|
| 【知】自ら進んで学び、表現する子を育てます。 |
| 【徳】互いに信頼し合って生きる子を育てます。 |
| 【体】心も体も健康になる子を育てます。 |
| 【公】帷子を愛し、帷子の未来を創る子を育てます。 |
| 【開】どんな人とも豊かなコミュニケーションができる子を育てます。 |

と設定しています。新型コロナウイルス感染拡大防止という現状の中、無理も無茶もできませんが、多くの制限のある中でも、めざす子どもの姿、子どもたちに身に付けてほしい力を明確にし、どのようにして目標達成のために工夫改善していくことができるかが、今年度も大きな課題となっていきます。

春、新年度、たくさんの新しい仲間と一緒に、子どもたち一人ひとりが自身の力を伸ばすとともに、社会の中で生活していくための力を身に付け、子ども自らがよりよい学校をつくっていきけるよう努力してまいります。まことに意識を向け、まちの人とかかわり、まちとともに歩む学校を目指していきます。帷子小 111 年目の今年度も、どうぞよろしくお願ひいたします。